

ふりがな 氏名	もりもと あさこ <b>森本 朝子</b>	都道府県	<b>神奈川県</b>	
所属/肩書	<b>横浜市立幸ヶ谷小学校 教諭 (ESD推進委員・重点研究推進委員)</b>			
私のESD活動	<b>自分、友達、社会の幸せをつくる子どもという学校教育 目標に向かい多くの人とのつながりを大切した活動です</b>			

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

学級担任として5年間、子どもたちと共にクラス総合でESDの活動を行ってきた。

○学校図書館を活性化させるために、捨てられる予定であった廃棄本を読める状態まできれいに直し、これからも読み続けていくことができるようにした。リサイクル本として本に新しい命を宿らせ、また新しい読み手に本が渡るようになった。

○地域の高齢者と交流をもち、昔の町のことについて話を聞いたり、これから自分たちの親、自分自身が高齢者になった時に住みやすい町にするためにはどのようにすればよいのかを考えたりした。高齢者のことを考えて、話し方に気を付けたり、遊びを考えたりする姿が見られた。また、地域の高齢者と関わることで、段差が多いことやバリアフリーの所が少ないなどいつもとは違う着眼点で町を見ることができ、自分たちが住んでいる町に改めて関心をもつようになった。子どもたちが高齢者に対しての考えが変わり、みんなが共存できる町の実現に向けて、地域の方に高齢者について理解してもらうための発表等を行い発信した。

○1年生の子どもたちが生活科のお手伝い単元で、家庭での仕事を手伝った。活動の中で、もっとできる仕事を増やし、家族の仕事を減らしたいという思いをもった。また、友達に自分のことを発表したり、アドバイスを伝え合ったりすることで、自分にできることが増え自己有用感をもつことができた。自分たちが仕事をすると、笑顔で家族が喜んでくれるという周りの変化も感じることもできた。そして、「大人になったら、今やっていることを当たり前にしなさいといけない。そのためにもお家の人の助けも借りながら、続けていきたい。」という自立に向けた思いをもった。

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思えますか？**

今年度は、クラス総合で「和食」をテーマに活動しています。近年、若者の和食離れが進んでいます。それに危機感をもった子どもたちは、昨年度から和食や魚食について学んできました。今年度は、自分たちがもっと和食について知るために、各地域の和食について学ぼうと考えています。韓国の招へいプログラムで知り合った先生方に連絡を取り、地域に伝わる伝統的な和食をテレビ電話等でお互いに伝え合う計画を立てています。そして、教えてもらった地域の料理や自分の保護者の地元の料理を実際に作ります。その活動を通して、日本という一つの国の中に様々な地域の伝統料理があり、それを引き継いでいこうという地域の方の思いを知るとともに、その文化を大切にしていこうという思いをもつことができます。そして、学校、地域、社会に和食の素晴らしさを伝え、最終的には、日本の大切な食文化を海外に発信したいと考えています。

活動を通して、積極的に様々な地域や国と繋がり、ESDの輪を広げていきたいです。人々との繋がりを作ることが、持続可能な社会を構築する道になりなると考えます。一度繋がった繋がりを継続し、関わり合うことが大切だと思います。また、学校間に限らず、岡山に集まる人々が垣根を越えて、持続可能な社会の実現を目指す学びのために、関わり、語り合うことが規模は小さいながらもESD全体の発展に貢献することになるのではないかと考えます。